３か年緊急対策

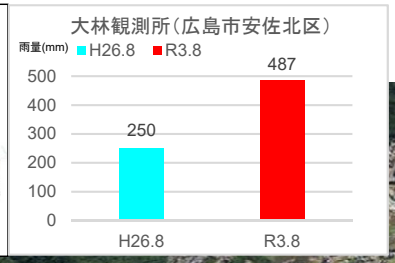
【令和３年８月の大雨で効果を発揮した事例】

河川改修事業（引堤、河道掘削等）により太田川水系根谷川の浸水被害を防止（国土交通省）

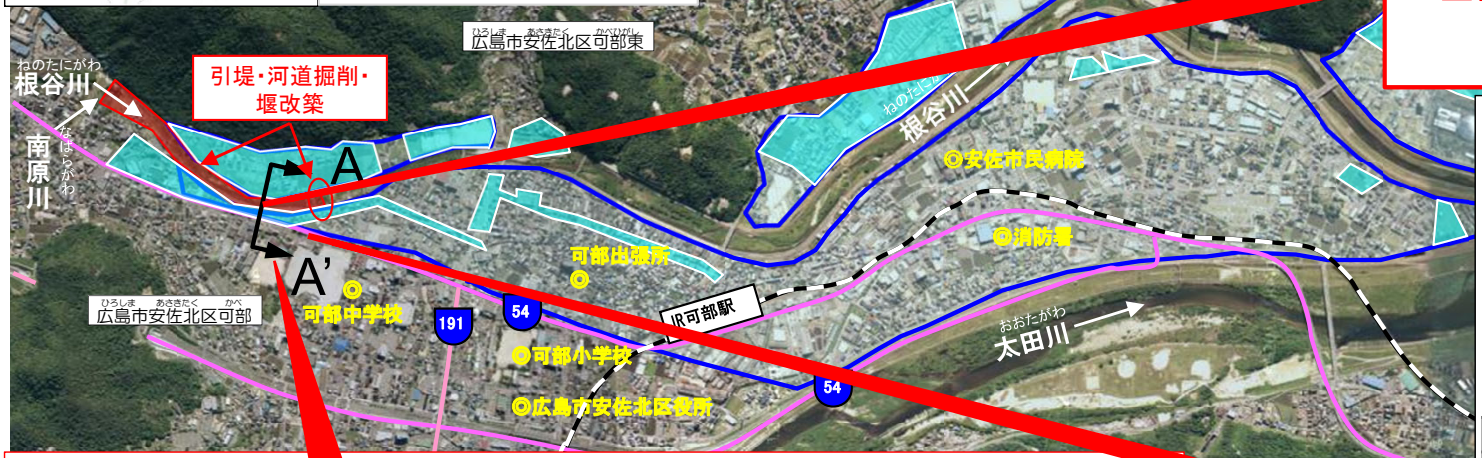
○根谷川流域では、前線の影響により広島市安佐北区の大林観測所では降り始めからの累加雨量が平成26年8月の250mmを上回る487mmを記録。

○平成26年8月洪水による根谷川の氾濫後、河川改修事業で引堤を進め、3カ年緊急対策により3か年前倒しで完了するとともに河道掘削と堰撤去を実施。これらの事業により今回の洪水では、平成26年8月に浸水被害のあった約37haの土地、約350戸の浸水家屋について浸水被害を防止。

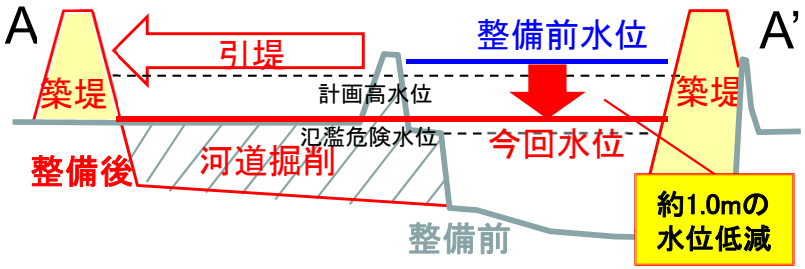
位置図



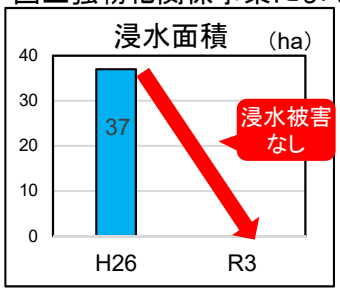
事業	対策内容	事業費	対策期間
河川改修事業＋3か年緊急対策	引堤	約55億円	H23～R2
3か年緊急対策	河道掘削、堰撤去	約5億円	H30～R2

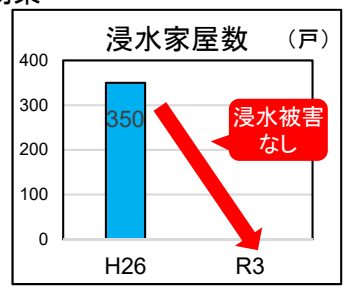


河川改修による水位低減効果（4k200付近）

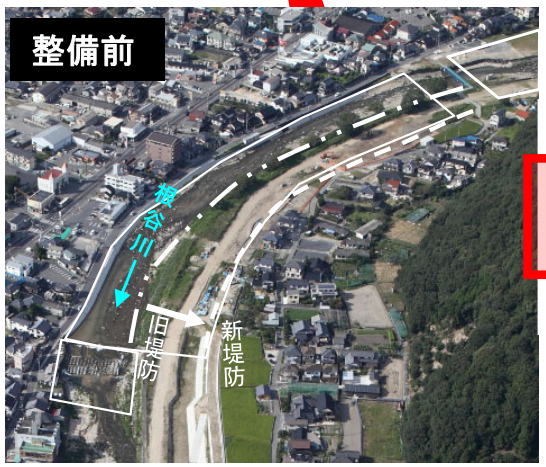


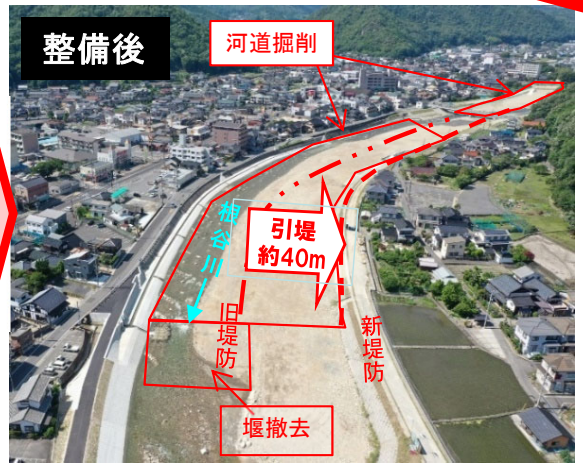
国土強靭化関係事業による効果

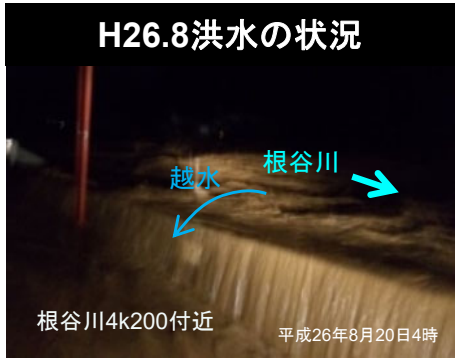




洪水時期	浸水面積	浸水家屋
H26.8	37ha	350戸
R3.8	0ha	0戸







※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

【作成：国土交通省】